



GE、産業用向けワイヤレスルーターを新発売

NTTドコモの通信回線を採用し、「インダストリアル・インターネット」を促進

GEにおいて送配電機器を扱う事業部門である GE デジタルエナジーは、様々なインフラ機器同士のコミュニケーションを、多大なシステム投資をおこなうことなく、簡便で安定したワイヤレス通信でおこなう、高いセキュリティ機能を有した産業向けワイヤレスルーター、MCR Orbit 3G wireless router を本年9月から日本で発売いたします。

(画像: MCR Orbit 3G wireless router)



GE が提唱する「インダストリアル・インターネット」はスマートな産業用機器、分析用ソフトウェア、そして人々がつながることによって生まれるグローバル規模のネットワークです。これを実現するために機器同士が通信ネットワークを介して互いに情報をやりとりし、機器が自律的に高度な制御や動作をおこなう、いわゆる「M2M」(マシン・トゥ・マシン)と呼ばれる技術分野が必要とされます。しかしこれまで、産業機器・装置や設備に設置されたセンサーで取得したデータは専用回線を敷設して受発信させるか、または付属のハードディスク等に格納し、人手を介してデータ回収の必要がありました。

今回発売した、産業機器向けワイヤレスルーター、MCR Orbit 3G wireless routerは接続するだけで携帯電話の3G回線を使用し、センサーデータの受発信が可能となるため、場所や地形や環境に影響されることなく、リアルタイムでデータ取得が可能となります。例えば遠隔地にある送配電用設備、高所にある風力発電施設、建設現場など劣悪な環境下に設置された機器のセンサーから、携帯電話用の通信回線でデータ送信を可能とし、新たな通信用免許の取得や、設備投資をすることなく、MCR Orbit 3G wireless routerによってフィールド作業員と産業機器間のセキュアな通信が実現します。

なお、この MCR Orbit 3G wireless router の通信機能として GE は株式会社 NTTドコモの通信回線を採用することに決定いたしました。これにより 3G 回線による通信機能が可能です。また産業用機器のデータという秘匿性の高い情報を取り扱うことから機器、お客様、ネットワークのセキュリティを保護する包括的なフレームワークを採用しています。さらに Class1 Division2 認証を受けた堅牢な筐体を採用しているため過酷な環境においても対応することができます。



GE デジタルエナジーについて

GE デジタルエナジーは保護制御、コミュニケーション、パワーセンシング、パワークオリティソリューションにおける世界的なリーダーです。製品、サービスによって電力ネットワークや電力会社向け、産業や大企業向けのクリティカル製品の信頼性を高めます。発電機、配電網やモーターといった保護・最適化アセットから、安定したワイヤレスデータ通信機器の提供まで GE デジタルエナジーは業界最先端の技術と提供し、お客様の課題解決に取り組めます。

GE について

GE は、世界が直面している困難な課題に取り組む企業です。人材とテクノロジーを最大限活用して、インフラ構築、電力供給、運輸や医療、金融に関わるソリューションを提供しています。日本において GE は、より安全でクリーンなエネルギーの供給や、急速に進む高齢化に対応する医療サービスなどに取り組んでいます。これらの課題を解決するために、技術革新を進め、ステークホルダーと協働して、日本の再生と持続的な成長を目指しています。エンジン創始者とする GE は、イマジネーションを大事にするとともに、実行する会社でもあります。課題解決のために行動を起こす、それが GE です。日本における GE の活動については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧下さい。